

第 69 回全国高等学校スキー大会京都府予選会におけるマテリアルコントロールについて

**【大会要項に記載されている規則】**

GSではFIS最新ルールに適合したスキーを使用しない者は、予選会には出場できるが全国大会へは出場できない

**【補足説明】**

- ・高1早生まれの選手を含む、すべての高校生に対してこのルールを適用する。
- ・FIS最新ルールに適合したスキー（以下「規格適合スキー」）を使用しない者であっても「第69回全国高等学校スキー大会京都府予選会」に出場することができる。ただし、上記大会要項に記載されている規則に該当する選手は、「第69回全国高等学校スキー大会」（以下「全国大会」）に出場できないものとする。
- ・兼任大会である「第72回京都府高等学校スキー大会 兼 2019年度京都府高等学校総合体育大会スキー大会」においては、FIS最新ルールの遵守有無に関わらず、リザルト掲載の対象とする。

**【告知】**

- ①2019年9月8日（日）に京都光華高校において行われた「京都府高体連スキー部総会」において、吉田強化委員長より説明。
- ②2019年11月14日（木）締切の「第69回全国高等学校スキー大会京都府予選会」の大会要項にて、上記の文言による周知徹底。
- ③2020年1月4日（土）長野県野沢温泉村で行われる「第69回全国高等学校スキー大会京都府予選会」の選手会において確認。

**【マテリアル委員会の設立】**

構成員：徳永秀也大会委員長、畑中直哉アルペン競技副審  
尚、畑中副審をマテリアル委員長とする。

**【マテリアルコントロールの実施、及び方法】**

- ・全出場選手が、規格適合スキーを使用しているか否かを、マテリアル委員会がチェックを行う。
- ・ゴール後、選手はゴールエリア内でマテリアル委員長によるマテリアルコントロールを受けなければならない。マテリアルコントロールを拒否した場合、全国大会出場の資格は与えられないものとする。
- ・全出場選手は、ゴールエリア内で必ず止まり、マテリアル委員長の指示に従うものとする。

**【マテリアルコントロールにおける範囲】**

- ①FIS最新ルールに則った回転半径のスキー
  - ②FIS最新ルールに則った長さのスキー
- 以上2点以外のマテリアルチェックは行わない。

**【マテリアルコントロールにより、規定違反と判断された選手がいた場合の対応】**

- ①マテリアル委員長から全国大会に出場できない旨を該当選手に告知する。
- ②マテリアル委員長から該当者について、競技委員長に報告をする。

- ③競技委員長が専門委員会に報告をする。
- ④専門委員会から次点選手に全国大会出場の意志を確認する。

**【全国大会出場枠が埋まらなかった場合の対応】**

- ・完走した規格適合スキー使用者総数が全国大会出場枠（以下「出場枠」）を下回り、結果として出場枠が埋まらなかった場合、その出場枠の扱いについては、マテリアル委員会に附することとする。
- ・マテリアル委員会は、出場枠が埋まらなかった場合のみ規格適合スキーを使用していない者のうち上位から全国大会への出場を許可することができる。この場合、対象選手は、大会最終日である2020年1月7日(火)13時までに、大会本部へ出場・不出場の意思を伝えなければならない。不出場の意思を伝えた場合、その権利は次点の選手へ移行する。ただし、全国大会には規格適合スキーでないと出場できないため、全国大会までに規格適合スキーが準備できない者、11月末現在でSAJ競技者登録手続きが完了していない者は、許可しないものとする。

**【その他の不測の事態の対応】**

マテリアル委員会において決定される。ジュリー、専門委員会は、この決定を支持するものとする。

**【事前マテリアルコントロールの実施】**

京都府高体連スキー部強化指定選手合宿（兼ポール講習会）参加選手は2019年12月31日(火)～2020年1月3日(金)12時まで、実施コース・スタート付近にて、事前に使用スキーの適合性を確認することができる。

以上